

リスクアセスメント研修のご案内

第11回（平成23年度）

社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会

リスクアセスメントは、「労働安全衛生マネジメントシステム」の中で最も重要な要素であり、これに習熟することは労働安全コンサルタント・労働衛生コンサルタントにとって不可欠なものと言われています。

平成17年の労働安全衛生法の改正により第28条の2(事業者の行うべき調査等)が設けられ、同条に基づき「危険性又は有害性等の調査等に関する指針」及び「化学物質等による危険性又は有害性等の調査等に関する指針」が公表されました。これらの指針は「労働安全衛生マネジメントシステム」の「危険性又は有害性等の調査及び実施事項の決定」(第10条)の具体的実施事項と位置付けられています。

本研修は、平成12年9月14日付け基発第577号の研修カリキュラムに従ったものですが、本年度は、機械による労働災害が依然として多発している現状を考慮し、「機械作業のリスクアセスメント」に焦点を当てた研修会を企画いたしました。今回の講師の梅崎重夫氏(独立行政法人労働安全衛生総合研究所・機械システム安全研究グループ部長)には、“機械作業のリスクアセスメントで実施者が陥る共通の問題点”を中心に具体的、実践的な講義と演習を進めてもらう予定でいます。法改正後約6年を経た現段階で、機械作業のリスクアセスメントのあるべき姿を多くのコンサルタントの参加の下に再検討するのは大変重要と思います。この機会に既に本研修を修了された方々も含めて奮って参加いただきますようご案内いたします。

記

1 開催日

東京会場 平成23年8月5日(金)

大阪会場 平成23年9月9日(金)

2 開催場所

(会場については別記案内図をご参照下さい。)

東京会場 建築会館ホール 東京都港区芝 5-26-20

大阪会場 大阪リバーサイドホテル 大阪市都島区中野町 5-12-30

3 定 員 東京会場・大阪会場共 50名 (先着順)

4 時間割

9.00 ~ 9.25	受 付	
9.25 ~ 9.30	開 講 の 挨 拶	
9.30 ~11.00	講義：労働安全衛生マネジメントシステムにおけるリスクアセスメントの目的と意義（危険性又は有害性等の調査等に関する指針を含む。）	① 労働安全衛生マネジメントの概要 ② リスクアセスメントの概論・意義目的 ③ リスクアセスメントの考え方
11.00~11.10	休 憩	
11.10~12.40	講義：リスクアセスメントの手法 その1	① リスクアセスメントの手順・方法 ② リスクの低減対策の概要
12.40~13.25	昼 食 ・ 休 憩	
13.25~14.55	リスクアセスメント手法の演習	① 危険源の特定 ② リスクの見積り・評価 ③ 発表・質疑・コメント
14.55~15.10	休 憩	
15.10~16.40	講義：リスクアセスメントの手法 その2	① 各種リスクアセスメント事例 ② 実施時のポイント等・まとめ
16.40~16.50	総 合 質 疑	

注：生涯研修制度のCPD時間数は、6CPD時間とします。

5 講師： 後藤 博俊（ゴトウ ヒロトシ）
（社）日本労働安全衛生コンサルタント会 顧問
梅崎 重夫（ウメザキ シゲオ）
独立行政法人 労働安全衛生総合研究所
機械システム安全研究グループ 部長

